

**令和3年度第3回  
滝沢市国民健康保険  
運営協議会  
審議案件説明書**

**滝沢市国民健康保険**

## 議題第 1 号

### 令和 3 年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）について

令和 3 年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）は、3 月補正予算です。

補正金額は、2 億 6, 9 1 2 万円の増額補正です。

本補正予算につきましては、滝沢市議会 3 月会議に上程いたします。

#### 初めに、補正予算の概要です。

令和 3 年度もいよいよ終盤を迎え、国民健康保険税などの歳入状況や医療費の歳出状況について、決算見込みにより補正を行います。

歳入では、1 款の国民健康保険税は 2, 0 7 2 万円の増額、4 款の県支出金は 2 億 7, 3 4 6 万 7 千円の増額とし、6 款の繰入金は 4, 1 5 4 万 1 千円の減額としております。

歳出では、2 款の保険給付費は 2 億 6, 8 5 3 万 5 千円の増額、9 款の予備費は 1, 5 0 0 万円の増額としております。

医療費の動向ですが、コロナが落ち着くまで入院を待っていた方や受診控えをしていた皆さんが病院にかかるようになったと思われ、令和 3 年 1 1 月診療分の医療費が、平成 2 0 年度の制度改正以来、月額として最高額を記録しております。

年を明けてオミクロン株が猛威を振るっている状況なので、令和 4 年 1 月診療分の医療費は下がると思いますが、補正予算作成時点では令和 3 年 1 2 月診療分の医療費がわからない状況だったことから、若干強めに医療費を見ております。

次に、まず歳出について、何件かの款について、個別に説明いたします。

【資料 1】 2 ページの 3 月補正欄をご覧ください。

1 款の総務費は、3 9 0 万 5 千円の減額です。支出見込額の確定による減額です。

2 款の保険給付費は、2 億 6, 8 5 3 万 5 千円の増額です。

1 項 1 目の一般被保険者療養給付費は 2 億 1, 3 1 9 万 4 千円の増額、2 項 1 目の一般被保険者高額療養費は 6, 0 2 7 万 3 千円の増額とする一方で、1 項 5 目の審査支払手数料は 6 4 万の減額、4 項 1 目の出産育児一時金は 4 2 0 万円の減額、5 項 1 目の葬祭費は 9 万円に減額としております。

5 款の保健事業費は、1, 3 2 7 万 2 千円の減額です。

若年者健診など一部事業が完了していないものもありますが、特定健康診査事業など、事業完了による支出見込額の確定による減額です。

9 款の予備費は、1, 5 0 0 万円の増額です。療養給付費は年間では多い月と少ない月ではおよそ 3, 0 0 0 万円の開きがありますが、今年度は 6, 0 0 0 万円の開きがあります。予期せぬ高額な医療費に備えるため、多い月と少ない月の半額を予備費として計上していることから、3, 0 0 0 万円にするものでありま

す。

続いて、歳入について、何件かの款について、個別に説明いたします。

【資料１】の１ページの３月補正欄をご覧ください。

**１款の国民健康保険税は、**１目の一般被保険者分が２，０７２万円の増額です。

**３款の国庫支出金は、**１５５万４千円の増額です。

コロナ関係での国保税の減免分の補助金であります。

**４款の県支出金は、**２億７，３４６万７千円の増額です。

歳出でも触れましたが歳出２款の保険給付費の増額に伴い、１項１目の保険給付費等交付金が増額になります。

**６款の繰入金は、**４，１５４万１千円の減額です。

１項１目５節の財政安定化支援事業繰入金につきましては、当初令和４年度からの繰入を実施する方向で財政当局と調整しておりましたが、令和３年度から繰入することになりました。

これにより、２項の基金繰入金、つまり財政調整基金からの取り崩しは９，１０３万６千円の減額となりました。

**８款の諸収入は、**１，４９２万円の増額です。

１項１目の一般被保険者延滞金は６００万円の増額、３項２目の一般被保険者返納金は８５５万５千円の増額です。

以上で、「議題第１号 令和３年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算（第４号）について」説明を終わります。

## 議題第 2 号

### 令和 4 年度滝沢市国民健康保険事業計画について

国民健康保険事業計画については、法令等に策定規定があるものではなく、県の指導監査において策定するよう指導を受け、策定しているものであります。

内容については、別添のとおりであります。「2 滝沢市国民健康保険の現状について」、「3 新型コロナウイルス感染症の影響について」と「4 国保の財政見通し」については、それぞれ最新の状況に変更しております。

このほかに項目については、大きな変更はありません。

なお、これまでは、当初予算編成に合わせて「国保の財政見通し」を作成し、議会説明の前に国保運営協議会で説明してまいりました。

しかし、当初予算編成時は、まだ当該年度の決算が出ていない時期であり、今年度の国保税引き上げの検討過程で、決算確定後に財政見通しを立てたほうがいいと判断したことから、「国保の財政見通し」については、令和 4 年 8 月を目途に作成する予定であります。

以上で、「議題第 2 号 令和 4 年度滝沢市国民健康保険事業計画について」の説明を終わります。

### 議題第3号

#### 令和4年度滝沢市国民健康保険特別会計当初予算について

令和4年度滝沢市国民健康保険特別会計当初予算は、総額45億8,730万1千円であります。

本当初予算については、滝沢市議会3月会議に上程いたします。

初めに、当初予算の概要です。

資料は、【資料4】の1～2ページです。

令和4年度滝沢市国民健康保険特別会計当初予算は、総額45億8,730万1千円、対前年比で6,941万円の減、率にして1.49%のマイナスとなります。

これは、県の医療費推計において、被保険者の減少が続いていることから、医療費が減少し、結果として事業費納付金も減少するとの見込みによるものです。

続いて、歳入について、【資料4】の1ページにより説明いたします。

1款の国民健康保険税は、8億3,913万8千円で、対前年比で145万5千円の増、0.17%のプラスです。

国保被保険者の高齢化と減少やコロナ禍での所得状況などから、前年度からほぼ据え置きとしております。

2款の使用料及び手数料は、30万1千円で、対前年比では増減なしです。

4款の県支出金は、32億8,508万6千円で、対前年比で2,896万1千円の減、0.87%のマイナスです。

1項1目1節の普通交付金は、滝沢市国保が支払った保険給付費の対象経費全額を県が交付するものです。対象経費は、保険給付費のうち、1項の療養諸費（審査支払手数料は除く）と2項の高額療養費、3項の移送費です。

なお、予算計上金額は、県の示達額であります。

6款の繰入金は、4億5,126万6千円で、対前年比で4,340万4千円の減、8.77%のマイナスです。

1項の他会計繰入金は、3億9,009万1千円で、対前年比で5,662万円の増、16.98%のプラスです。これは、5節の財政安定化支援事業繰入金5,946万8千円をあらたに繰り入れするためであります。

2項の基金繰入金は、6,117万5千円で、対前年比で1億2万4千円の減、62.05%のマイナスです。これは、先ほどの財政安定化支援事業繰入金をあらたに繰り入れることで、基金繰入金が減少したものであります。

8款の諸収入は、1,150万7千円で、対前年比で150万円の増、14.99%のプラスです。

1項1目の延滞金の増によるものです。

続いて、歳出について、【資料4】の2ページにより説明いたします。

1款の総務費は、7,520万5千円で、対前年比では357万3千円の減、

4. 54%のマイナスです。職員人件費等の減です。

**2 款の保険給付費は、32億3,988万8千円で、対前年比で2,934万2千円の減、0.9%のマイナスです。**

1 項の療養諸費は、対前年比で2,514万千円の減、0.88%のマイナスです。

歳入で説明したとおり、保険給付費のうち1 項の療養諸費（審査支払手数料を除く）、2 項の高額療養費、3 項の移送費に関しては、実際に支払った全額が県から普通交付金として交付されます。なお、予算計上金額は、県の示達額であります。

4 項の出産育児諸費は、対前年比で420万2千円の減、28.57%のマイナスです。これは、出産育児一時金の件数を35件から25件に見直したものです。

**3 款の国民健康保険事業費納付金は、11億7,155万8千円で、対前年比4,594万8千円の減、3.77%のマイナスです。**

国の負担金・補助金や社会保険診療報酬支払基金の交付金と納付金等を調整したうえで、医療給付費分と後期高齢者支援金分、介護納付金分に相当する金額を県に納付するもので、予算計上金額は、県の示達額であります。

**5 款の保健事業費は、6,635万4千円で、対前年比で543万2千円の減、7.57%のマイナスです。**

1 項1 目の保健衛生普及費は、101万7千円の減、27.07%のマイナスです。医療費通知の発送が年6回から年1回に変更になったことによる郵便料と委託料の減です。

1 項2 目の疾病予防費は、176万9千円の減、11.71%のマイナスです。  
2 歳児のフッ素塗布の予算を一般会計の健康推進課の予算に組み換えしたことによる減です。

2 項1 目の特例健康診査等事業費は、264万6千円のマイナスです。保険年金課に正保健師1名が配置されたことから、会計年度任用職員の保健師の予算計上を4名分から3名分に変更したことによる減です。

以上で、「議題第3号 令和4年度滝沢市国民健康保険特別会計当初予算について」説明を終わります。